

米軍輸送機オスプレイの配備撤回・低空飛行訓練の中止を

年 月

衆議院議長 様
参議院議長 様

【請願趣旨】

日米両政府は10月初旬、国民の強い反対を無視して、欠陥機 MV22 オスプレイ 12 機を世界一危険な普天間基地に強行配備しました。

オスプレイは、開発段階から何度も墜落事故を繰り返し、これまでに少なくとも 36 人が死亡しており、構造的欠陥機であることは世界に知られています。

日本政府は、アメリカ政府から 4 月のモロッコ、6 月のアメリカ・フロリダ州でのオスプレイ墜落事故報告を受けて、「機体に問題はなかった。事故は人為的ミス」として「安全宣言」をおこないました。安全宣言は、「普天間基地への配備ありき」の姿勢を露骨に示したものであり、認めるわけにはいきません。

沖縄県では、普天間基地への配備前の 9 月、「オスプレイ配備計画を直ちに撤回し、普天間基地の閉鎖・撤去」を求める県民大会が 10 万人以上の参加で開かれ、「オール沖縄」の意思を確認しました。

県民大会後も「オスプレイ配備撤回」「普天間基地の閉鎖・撤去」「米軍基地返還」を求めて県内各地で住民大会が開かれています。

普天間基地に配備されたオスプレイは連日、人口密集地域での飛行、夜間飛行、低空飛行など「違反飛行」を繰り返し、沖縄県民の命と安全をおびやかしています。

オスプレイは、山口県・岩国基地、静岡県・キャンプ富士に分遣隊として派遣され、全国 7 つのルートで高度 150 メートル以下の低空飛行を含む訓練など、沖縄と日本本土のあらゆる場所での訓練が想定されています。このように、沖縄県民と国民を危険にさらすオスプレイの配備は許されません。

私たちは、下記事項の実現を求めます。

【請願項目】

- 政府は、オスプレイ配備の撤回と全国各地での低空飛行訓練中止をアメリカに求めること。

氏 名	住 所

取り扱い団体

【送付先】 安保破棄中央実行委員会

〒101-0061 東京都千代田区三崎町 2-11-13
TEL.03-3264-4764 FAX.03-3264-4765